

## 波乱のなさそうなドイツ議会選の何に注目する

発表日：2017年9月19日(火)

～SPDとFDPの獲得票率～

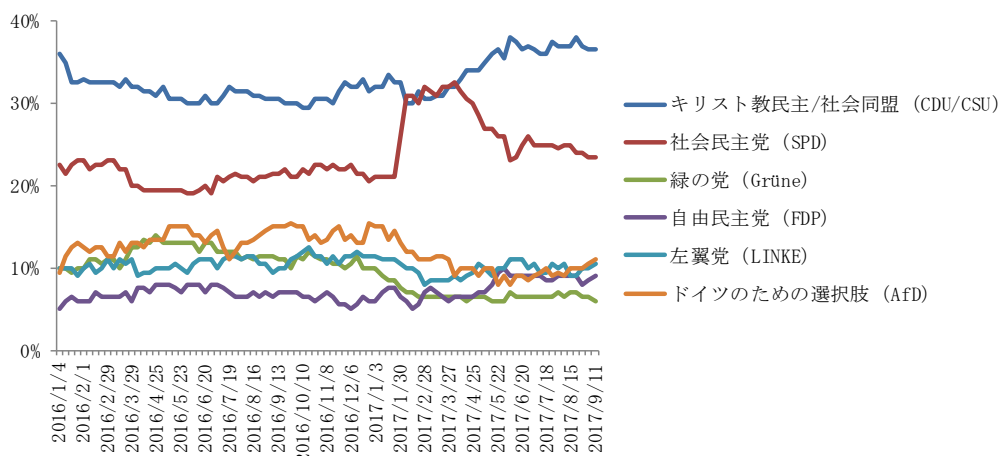
第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

◇ 24日のドイツ連邦議会選は、メルケル首相が率いる中道右派・保守政党の勝利が確実視されている。連立相手によって多少の政策の濃淡はあるものの、小規模な減税と歳出拡大の経済政策、親EU路線となることに変わりはない。投開票日の注目点としては、連立の行方を占ううえで各党の獲得票率、既存政党批判の広がりを確認するうえで投票率と反体制派政党の獲得票率。

### 【各党の支持率】

24日に迫るドイツ連邦議会選挙は、メルケル首相が率いるキリスト教民主同盟（CDU）とバイエルン州で活動する姉妹政党・キリスト教社会同盟（CSU）の統一会派が、各種の世論調査で37%前後の支持率で他党を大きく引き離しており、勝利が確実視されている（図表1）。難民危機を契機に広がった反移民を掲げる新興右派政党・ドイツのための選択肢（AfD）の支持率も、政府の難民危機対応の強化や党内の意見不一致の表面化もあり、10%前後で伸び悩んでいる。AfDの初の議席獲得は確実な情勢だが、選挙後の連立に加わる可能性はなく、政権運営への影響力は限られよう。また、シュルツ前欧州議会議長を首相候補に擁立した社会民主党（SPD）の政権奪取の可能性も遠退いた。SPDの支持率は今年の2・3月頃にかけてCDU・CSUに肉薄し、左派による政権交代への期待が高まる場面もあったが、州議会選での連戦連敗やシュルツ旋風が期待先行に終わり、CDU・CSUに大きく水を開けられている。メルケル首相の四選続投はほぼ確実な情勢で、このまま次期政権下で4年の任期を全うすれば、東西ドイツ統一を果たしたコール首相と並び、第二次大戦後で最長の16年の首相在位期間となる（図表2）。

（図表1）ドイツの政党別支持率調査の推移



出所：INSA資料より第一生命経済研究所が作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(図表2) 戦後西ドイツと統一ドイツの歴代政権

連邦議会選 投票日	政権発足日	政権発足に 要した日数	政権の 存続日数	首相の 在位日数	連邦首相	連立参加政党
1949/8/14	1949/9/20	37	1491	5140	アデナウアー①	CDU/CSU、FDP、DP
1953/9/6	1953/10/20	44	1470		アデナウアー②	CDU/CSU、FDP、故郷、DP
1957/9/15	1957/10/29	44	1477		アデナウアー③	CDU/CSU、DP
1961/9/17	1961/11/14	58	395		アデナウアー④	CDU/CSU、FDP
※内閣改造	1962/12/14	—	307		アデナウアー⑤	CDU/CSU、FDP
※首相辞任	1963/10/17	—	740	1141	エアハルト①	CDU/CSU、FDP
1965/9/19	1965/10/26	37	401		エアハルト②	CDU/CSU、FDP
※連立崩壊	1966/12/1	—	1056	1056	キージンガー	CDU/CSU、SPD
1969/9/28	1969/10/22	24	1150	1668	ブランド①	SPD、FDP
1972/11/19	1972/12/15	26	518		ブランド②	SPD、FDP
※首相辞任	1974/5/17	—	944	3062	シュミット①	SPD、FDP
1976/10/3	1976/12/16	74	1420		シュミット②	SPD、FDP
1980/10/5	1980/11/5	31	698		シュミット③	SPD、FDP
※不信任	1982/10/4	—	177	5867	コール①	CDU/CSU、FDP
1983/3/6	1983/3/30	24	1443		コール②	CDU/CSU、FDP
1987/1/25	1987/3/12	46	1408		コール③	CDU/CSU、FDP
1990/12/2	1991/1/18	47	1399		コール④	CDU/CSU、FDP
1994/10/16	1994/11/17	32	1440		コール⑤	CDU/CSU、FDP
1998/9/27	1998/10/27	30	1456	2583	シュレーダー①	SPD、緑
2002/9/22	2002/10/22	30	1127		シュレーダー②	SPD、緑
2005/9/18	2005/11/22	65	1436	5785+	メルケル①	CDU/CSU、SPD
2009/9/27	2009/10/28	31	1511		メルケル②	CDU/CSU、FDP
2013/9/22	2013/12/17	86	1377+		メルケル③	CDU/CSU、SPD
2017/9/24	?	?	?		メルケル④?	?
	平均	43				

注：政党の略称は次の通り。CDU：キリスト教民主同盟、CSU：キリスト教社会同盟、SPD：社会民主党  
 FDP：自由民主党、緑：90年同盟・緑の党、DP：ドイツ党、故郷：故郷被追放者・権利被剥奪者ブロック  
 出所：各種資料より第一生命経済研究所が作成

### 【政権発足の流れ】

政権発足には原則として連邦議会の過半数の支持が必要となる。具体的には、議会選から30日以内に召集される連邦議会において、国家元首である大統領の推薦に基づき、連邦議会議員の過半数の支持を得た人物が首相に選出され、大統領によって任命される（基本法第63条第1項ならびに第2項）。大統領に推薦された人物が首相に選出されない場合、連邦議会の過半数の票決に基づき、投票から14日以内に首相を選出することができる（同条第3項）。もし、この期間中に首相が選出されない場合、新たな投票が行われ、そこで最多票を獲得した人物が首相に選出される。もし、選出された人物が連邦議会の過半数の支持を獲得した場合、大統領は投票から7日以内に当該人物を首相に任命する。もし、当該人物が連邦議会の過半数の支持を獲得しない場合、大統領は投票から7日以内に当該人物を首相に任命するか、連邦議会を解散しなければならない（同条第4項）。

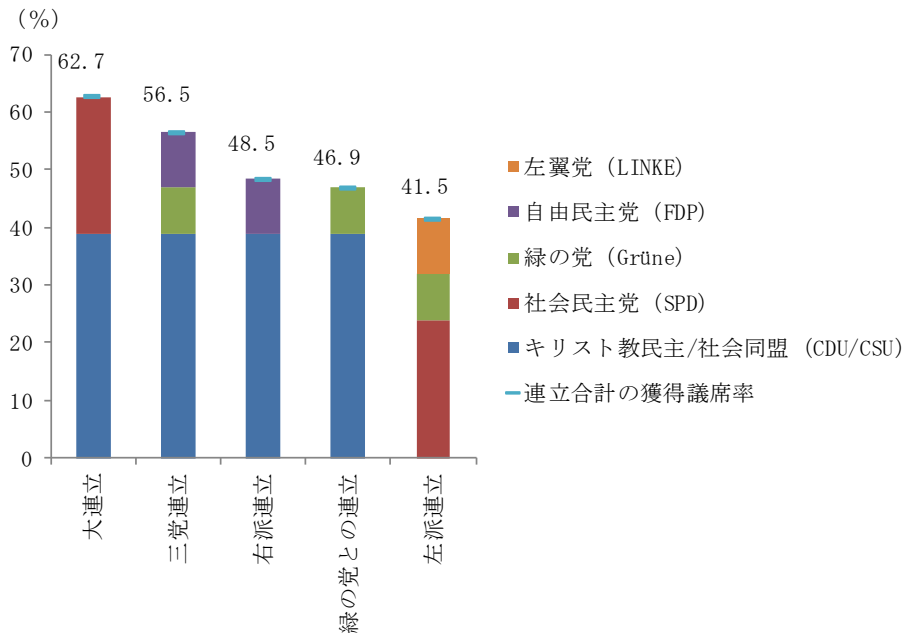
### 【連立の組み合わせ】

各種の世論調査によれば、CDU・CSUの統一会派だけで連邦議会の過半数を確保するのは困難で、考えられる連立の組み合わせとしては、①現政権と同様にSPDとの二大政党による大連立、②第二次メルケル政権同様にリベラル政党・自由民主党（FDP）との右派連立（党のイメージカラーの組み合わせが虎模様に似ていることから「タイガー連立」とも呼ばれる）、③FDPに緑の党を加えた三党連立（色

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

の組み合わせがジャマイカの国旗と同じであることから「ジャマイカ連立」とも呼ばれる) 一などが考えられる(図表3)。連立協議を主導するであろうCDUは、旧東ドイツの左派政党とSPDを離党した最左派勢力が合流して作った左翼党(LINKE)、前述のAfDと連立を組む可能性を否定している。SPDであれば社会的公平、FDPは規制緩和、緑の党は環境規制を重視するなど、連立相手によって多少の政策の濃淡はあるものの、どの組み合わせとなった場合も、小規模の減税と歳出拡大の経済政策、親EU路線であることに変わりはない。ただし、ドイツ選挙後に本格的な議論の開始が予想されるユーロ圏改革では、FDPが財政救済に否定的な立場を採っている。

(図表3) ドイツ連立政権の予想獲得議席



注：7世論調査の最新値の平均に基づく予想獲得議席率  
 出所：各種世論調査より第一生命経済研究所が作成

**【連立協議】**

連立協議には通常かなりの時間が掛かる。連邦議会選の投開票日から政権発足に要した日数は、第二次大戦後の平均で43日、前回2013年の選挙が過去最長で86日、過去最短は1969年と1983年の24日(前掲図表2)。SPDとFDPの両党は、CDU・CSU主導の連立政権に加わったことで、政策の独自色を失い、次の選挙で苦戦した経験がある。第一次メルケル政権と第三次メルケル政権に連立パートナーとして加わったSPDは、2009年の連邦議会選で第二次大戦後で史上最低の23.0%の獲得票率にとどまり、今回の選挙戦でも支持率の低迷に喘いでいる(図表4)。第二次メルケル政権に加わったFDPは、2013年の選挙で最低議席獲得に必要な5%に届かず、戦後守り続けてきた議席と二大政党の連立相手としての地位を失った。ジャマイカ連立は州議会レベルでの前例こそあるが、リベラル政党のFDPと環境政党の緑の党の間で政策面の相違が大きく、連立協議は難航が予想される。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(図表4) 戦後の西ドイツ・統一ドイツの連邦議会選挙の政党別獲得票率・獲得議席

連邦議会選挙日程	上段：連立与党獲得議席		上段：比例票獲得票率、下段：小選挙区・比例代表の総獲得議席数											
	上段：投票率	下段：議席総数	上段：総投票に占める連立与党獲得票率	CDU・CSUの合計		社会民主党 (SPD)	自由民主党 (FDP)	緑の党 (Grüne) ※1990年以降は90年同盟との合同党派	左翼党 (LINKE) ※2002年以前は民主主義党 (PDS)	ドイツのための選択肢 (AfD)	ドイツ党 (DP)	故郷被追放者・権利被剥奪者ブロック	その他議席獲得政党	
				キリスト教民主連合 (CDU)	キリスト教社会連合 (CSU)									
1949/8/14	78.5	208	46.9	31.0	25.2	5.8	29.2	11.9	—	—	—	4.0	—	22.8
	402	202	47.4	139	115	24	131	52	—	—	—	17	—	63
1953/9/6	86.0	302	54.7	45.2	36.4	8.8	28.8	9.5	—	—	—	3.3	5.9	0.8
	509	255	58.5	249	197	52	162	53	—	—	—	15	27	3
1957/9/15	87.8	294	53.6	50.2	39.7	10.5	31.8	7.7	—	—	—	3.4	4.6	—
	519	260	54.9	277	222	55	181	44	—	—	—	17	0	—
1961/9/17	87.7	318	58.2	45.4	35.8	9.6	36.2	12.8	—	—	—	2.8	—	—
	521	261	59.9	251	201	50	203	67	—	—	—	0	—	—
1965/9/19	86.8	301	57.1	47.6	38.0	9.6	39.3	9.5	—	—	—	—	—	—
	518	260	59.2	251	202	49	217	50	—	—	—	—	—	—
1969/9/28	86.7	268	48.5	46.1	36.6	9.5	42.7	5.8	—	—	—	—	—	—
	518	260	51.3	250	201	49	237	31	—	—	—	—	—	—
1972/11/19	91.1	284	54.2	44.9	35.2	9.7	45.8	8.4	—	—	—	—	—	—
	518	260	54.7	234	186	48	242	42	—	—	—	—	—	—
1976/10/3	90.7	264	50.5	48.6	38.0	10.6	42.6	7.9	—	—	—	—	—	—
	518	260	51.0	254	201	53	224	40	—	—	—	—	—	—
1980/10/5	88.6	282	53.5	44.5	34.2	10.3	42.9	10.6	1.5	—	—	—	—	—
	519	260	53.8	237	185	52	228	54	0	—	—	—	—	—
1983/3/6	89.1	290	55.6	48.7	38.1	10.6	38.2	6.9	5.6	—	—	—	—	—
	520	261	55.9	255	202	53	202	35	28	—	—	—	—	—
1987/1/25	84.3	282	53.3	44.2	34.4	9.8	37.0	9.1	8.3	—	—	—	—	—
	519	260	54.1	234	185	49	193	48	44	—	—	—	—	—
1990/12/2	77.8	398	54.8	43.8	36.7	7.1	33.5	11.0	5.0	2.4	—	—	—	—
	662	332	57.3	319	268	51	239	79	8	17	—	—	—	—
1994/10/16	79.0	341	48.4	41.5	34.2	7.3	36.4	6.9	7.3	4.4	—	—	—	—
	672	337	50.2	294	244	50	252	47	49	30	—	—	—	—
1998/9/27	82.2	345	47.6	35.2	28.4	6.8	40.9	6.2	6.7	5.1	—	—	—	—
	669	335	50.6	245	198	47	298	43	47	36	—	—	—	—
2002/9/22	79.1	306	47.1	38.5	29.5	9.0	38.5	7.4	8.6	4.0	—	—	—	—
	603	302	48.6	248	190	58	251	47	55	2	—	—	—	—
2005/9/18	77.7	448	69.4	35.2	27.8	7.4	34.2	9.8	8.1	8.7	—	—	—	—
	614	308	72.3	226	180	46	222	61	51	54	—	—	—	—
2009/9/27	70.8	332	48.4	33.8	27.3	6.5	23.0	14.6	10.7	11.9	—	—	—	—
	622	312	51.5	239	194	45	146	93	68	76	—	—	—	—
2013/9/22	71.5	504	67.2	41.5	34.1	7.4	25.7	4.8	8.4	8.6	4.7	—	—	—
	631	316	71.7	311	255	56	193	0	63	64	0	—	—	—

注：網掛けは連立参加政党  
出所：各種資料より第一生命経済研究所が作成

### 【連邦参議院とのねじれ】

連邦参議院とのねじれを不安視する声もある。連邦議会が国民の代表機関であるのに対し、連邦参議院は州政府の代表で構成され、各州はその規模に応じた投票権を持ち、賛成・反対・棄権のいずれかに一括して投票する。各州の投票行動は当該州議会の多数派（政権与党）の立場を反映する。一括投票のため、政権与党内の意見統一が難しい事案では棄権票を投じることが多い。現在の州議会の政権与党を確認すると、CDU・CSU主導の州政府が過半の議席を占めるが、連立相手は区々で、大連立、右派二党連立、ジャマイカ連立では、何れも過半数に届かない（図表5）。なお、10月15日にニーダー・ザクセン州、

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

2018年中にバイエルン州とヘッセン州で州議会選挙が予定されている。バイエルン州でC S Uの牙城が脅かされる公算は低く、ヘッセン州もC D U主導の政権が続く可能性が高い。ニーダー・ザクセン州ではS P Dと緑の党による連立がC D U主導の政権に取って代わられる可能性があるが、これはねじれを緩和する方向に働く。

連邦参議院の同意が必要な法案は、州運営に関する法案と憲法改正。連邦議会で可決された法案が連邦参議院で同意を得られない場合、両院協議会を開催して妥協が模索されるが、失敗すれば当該法案は廃案となる。連邦参議院の同意を必要としない法案でも、連邦参議院は異議を表明することが可能で、この場合、連邦議会は連邦参議院の異議表明を上回る票率で再議決すれば、異議を却下することができる。憲法改正には両院の3分の2の多数が必要となる。主要政党間の意見相違が目立つ争点に関連した法案審議や憲法改正では、連邦参議院の多数派確保が困難を極める可能性がある。

(図表5) ドイツ連邦参議院の州別政党構成

州	政権与党	参議院議席数	次期州議会選挙
バーデン・ビュルテンベルク	緑の党、C D U	6	2021年
バイエルン	C S U	6	2018年
ベルリン	S P D、左翼党、緑の党	4	2021年
ブランデンブルク	S P D、左翼党	4	2019年
ブレーメン	S P D、緑の党	3	2019年
ハンブルク	S P D、緑の党	3	2020年
ヘッセン	C D U、緑の党	5	2018年
メクレンブルク・フォアポンメルン	S P D、C D U	3	2021年
ニーダーザクセン	S P D、緑の党	6	2017年10月15日
ノルトライン・ヴェストファーレン	C D U、F D P	6	2022年
ラインラント・プフォルト	S P D、緑の党、F D P	4	2021年
ザールランド	C D U、S P D	3	2022年
ザクセン	C D U、S P D	4	2019年
ザクセン・アンハルト	C D U、S P D、緑の党	4	2021年
シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン	C D U、緑の党、F D P	4	2022年
チューリングゲン	左翼党、S P D、緑の党	4	2019年
C D U・C S U主導	C D U・C S Uが第1党	32	
S P D主導	S P Dが第1党	27	
大連立	C D U・C S U、S P D	16	
右派連立	C D U・C S U、F D P	12	
ジャマイカ連立	C D U・C S U、F D P、緑の党	27	
左派連立	S P D、緑の党、左翼党	24	
左翼党とA f Dが反対	C D U・C S U、S P D、F D P、緑の党	57	
左翼党・A f D・緑の党が反対	C D U・C S U、S P D、F D P	26	
左翼党・A f D・F D Pが反対	C D U・C S U、S P D、緑の党	43	
合計		69	

出所：各種資料より第一生命経済研究所が作成

## 【投開票の流れ】

投票は現地時間で24日の8時に始まり、同18時（日本時間で翌25日の1時）の投票終了直後に公共放送などが一斉に出口調査の結果を発表する（図表6）。18時15分から開票速報が順次発表され、同20時頃（日本時間で翌25日の3時頃）には政府が開票速報を、翌25日の3時頃（日本時間で翌25日の10時頃）に政府が暫定結果の発表を予定している。

(図表6) ドイツ連邦議会選挙の当日の流れ

選挙当日の流れ	ドイツ時間	日本時間
投票開始	9月24日 (日) 8:00	9月24日 (日) 15:00
14:00時点の投票率を公表	9月24日 (日) 15:30頃	9月24日 (日) 22:30頃
投票終了	9月24日 (日) 18:00	9月25日 (月) 1:00
メディアが出口調査を公表	9月24日 (日) 18:00	9月25日 (月) 1:00
メディアが開票速報の発表を開始	9月24日 (日) 18:15	9月25日 (月) 1:15
政府が開票速報を公表	9月24日 (日) 20:00頃	9月25日 (月) 3:00頃
主要政党党首のテレビ・インタビュー	9月24日 (日) 20:15	9月25日 (月) 3:15
政府が暫定結果を公表	9月25日 (月) 3:00頃	9月25日 (月) 10:00頃

出所：ドイツ連邦選挙管理官、Bloombergより第一生命経済研究所が作成

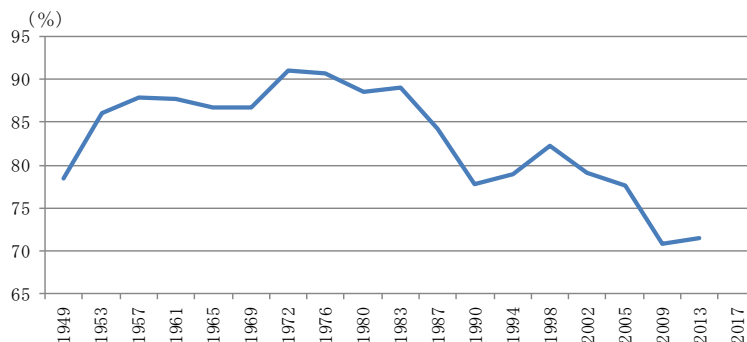
## 【選挙制度】

連邦議会選挙は小選挙区・比例代表併用制で行われ、定数（598）の半数（299）が小選挙区から選出されるが、全体の議席配分は比例票に基づいて各政党に配分される。比例配分の対象となる政党は、全国で5%以上の票を獲得した政党、もしくは3つ以上の小選挙区で当選者を出した政党に限られる。このとき、比例議席の配分数から小選挙区の当選者を差し引いた人数が、各党の比例名簿から選ばれる。比例名簿は州単位で作成され、小選挙区の当選者数が比例配分議席を上回ることがしばしば起こる。その場合も小選挙区での当選が優先されるため、定数を上回る超過議席が発生する。

## 【投開票日の注目点】

速報時点での注目材料は、①CDU・CSUの獲得票率が事前の世論調査を上回るかどうか、②各党の獲得票率から判断して、連立協議が比較的容易とされるFDPとの右派連立が可能かどうか、③SPDの支持率が2009年に記録した史上最低を割り込み、連立参加への党内の反発が高まるかどうか、④AfDの支持率が事前の世論調査を上回るかどうか、⑤投票率が過去2回の低迷から持ち直すかどうか（図表7）など。ドイツの世論調査の精度は比較的高く、CDU・CSUのリードがかなり大きいことから、波乱を予想する声はほとんど見当たらない。ただ、今回の選挙戦では投票日の直前まで態度を決めかねている有権者が多い。調査会社フォアシュングス・グループ・バーレンが9月12～14日に行なった世論調査では、態度保留者が39%に上った。これは過去の連邦議会選挙での投票直前と比べて相当高いと言われている。また、出口調査や開票速報で明らかとなるのは政党別の比例票が中心だ。小選挙区の結果次第で超過議席が発生するため、速報結果の評価には注意を要する。

(図表7) ドイツ連邦議会選挙の投票率



出所：ドイツ連邦選挙管理官資料より第一生命経済研究所が作成

以上